

令和8年度 道徳教育全体計画

大村市立竹松小学校

学校教育目標

「やさしく かしく たくましい
竹松っ子の育成」

- 明るく思いやりがある子供
- 進んで学びよく考える子供
- 健康でねばり強い子供

郡中学校区との連携
幼稚園・保育園との連携
学童との連携

児童の実態
保護者の願い
教職員の願い
地域の願い

日本国憲法 教育基本法
学校教育法 学校教育法施行規則
学習指導要領 長崎県教育基本方針
大村市教育基本方針

道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

道徳教育の重点目標

- 自己を見つめ希望と夢をもって、より高い目標の実現をめざし努力しようとする。
- 思いやりや謙虚な心を持ち、互いに信頼し合って、協力し助け合おうとする。
- 公共心や公德心を養い、進んで働き、よりよい社会を築こうとする。
- 生きることを喜び、自他の生命を尊重しようとする。

低・中・高学年別目標

視点	低学年	中学年	高学年
A 5 希望と勇気、努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。	より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。
B 1 0 友情、信頼	友達と仲よくし、助け合うこと。	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。
C 1 4 勤労、公共の精神	働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。
D 3 生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。

各教科における道徳教育

年間にわたって位置づけた主題については、各教科との関連を図ることで指導の効果を高められる場合は、指導の内容及び時期を考慮して年間計画に位置づけるなど、具体的な関連の見通しをもつことができるようにする。

国語	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めさせる。 思考力や想像力を養うこと及び言語感覚を豊かにさせる。 我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土と歴史に対する愛情を涵養する。 国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者としての自覚を持ち、自他の人格を尊重し、社会的な義務や責任を重んじ、公正に判断しようとする態度や能力などの公民としての資質・能力の基礎を養う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち道筋を立てて考察する力を育てる。 工夫して生活や学習をしようとする態度を育てる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 栽培や飼育などの体験活動を通して自然を愛する心情を育てる。 見通しをもって観察。実験を行わせる。 問題解決の力を育てる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身、身近な人々、社会及び自然と直接関わる活動や体験を通して、自然に親しみ、生命を大切にするなど自然との関わりに関心をもたせる。 自分のよさや可能性に気付くなど自分自身について考えさせる。 生活上のきまり、言葉遣い、振る舞いなど生活上必要な習慣を身につけ、自立した生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。
図工	<ul style="list-style-type: none"> つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身につけ、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育てる。 家庭生活を大切にすることを育む。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで粘り強く取り組む、気持ちのよい挨拶をする、仲間と協力する、勝敗を受け入れる、フェアなプレイを大切にすること、仲間の考えや取組を理解するなどの態度を養う。

特別活動における道徳教育

- 多様な他者の意見を尊重しようとする態度、自己の役割や責任を果たして生活しようとする態度、よりよい人間関係を形成しようとする態度、みんなのために進んで働こうとする態度、自分たちできまりや約束を作って守ろうとする態度、目標をもって諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性を大切にして集団活動を行おうとする態度を育む。

総合的な学習の時間における道徳教育

- 目指す児童像の実現をめざし、子供自身の課題による問題解決的な学習を通して、自分自身を見つめ、互いに認め合い、高め合うことの意義に気づくとともに、自分の価値観を高め、自己の生き方を探求する。他者や社会と協働・共生する能力を育成する。

外国語科・外国語活動における道徳教育

- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他社に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

その他の教育活動における道徳教育

- 基本的な生活習慣の形成を中心とした実践的態度を養う。(朝の会・帰りの会・掃除の時間・給食の時間など)

特別の教科 道徳の時間

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

家庭・地域との連携

- 理解と信頼の上に協力し、連携して子供の道徳性の育成を図る。
- 学校・学年だより、保健・給食だより等
- HP
- 授業参観、懇談会、個人面談
- PTA、健全協 等

学習環境の充実・整備

- 人的環境の充実
 - ・ 教職員と児童、児童相互の信頼関係
 - ・ 全教職員の共通理解、協力体制
 - ・ 学年交流、異学年交流
- 物的環境の充実・整備

学年・学級の道徳教育の充実

- 学級における指導計画の作成と推進
 - ・ 学級の子供の実態と指導の基本方針
 - ・ 豊かな体験活動、教育環境、基本的な生活習慣、家庭・地域との連携の内容と方法
 - ・ 各教科等との関連、学習の総合化